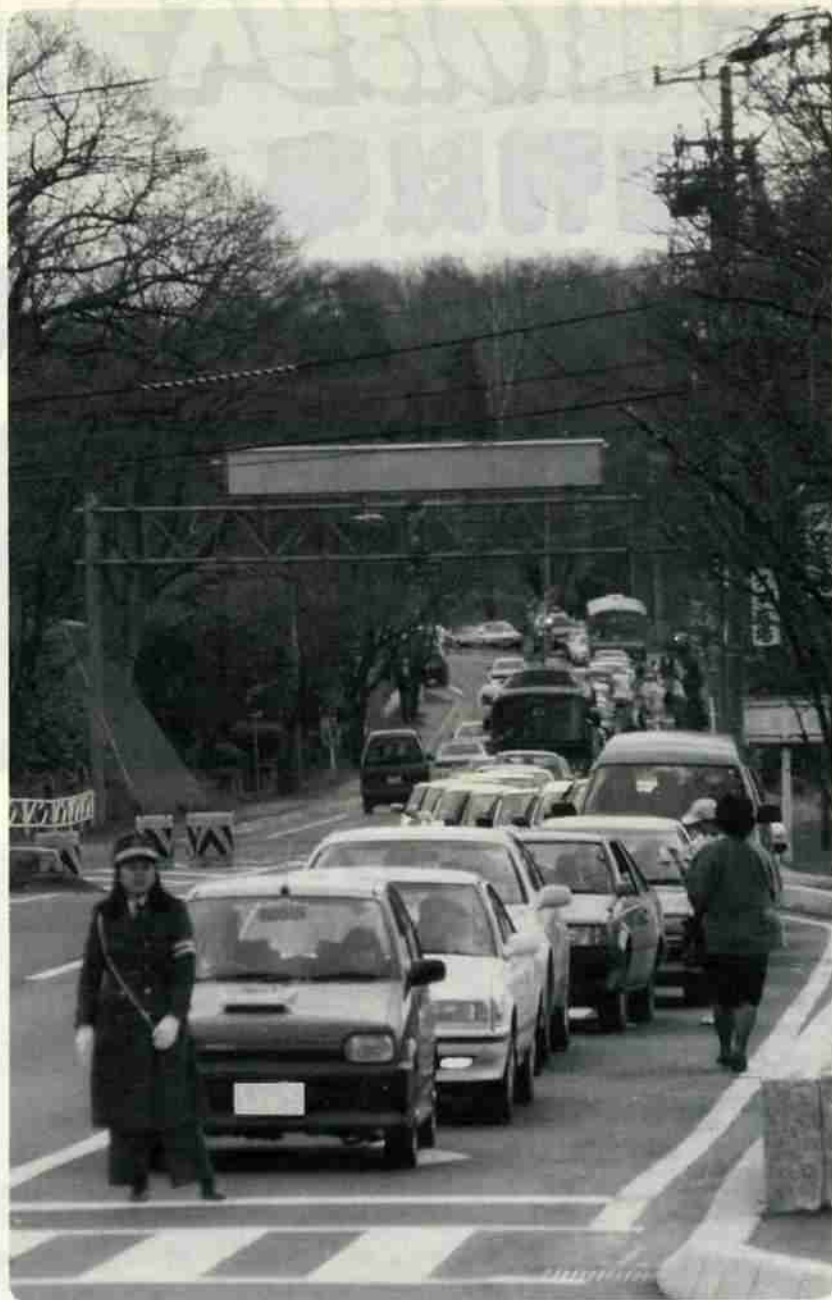


今年のゴールデンウィークは、
テーマパークが新たに2か所オー
プン。大勢の観光客が訪れ、温泉
街へ行く道は大渋滞。



NOBORIBETSU

広報
のぼりべつ

'92
6.1
No.500

■ 人口/56,937 ■ 世帯/20,244 (前月比=人口-55・世帯+51) 平成4年4月末現在

「広報のぼりべつ」が 創刊以来 500号になりました

毎月皆さんにお届けしている「広報のぼりべつ」が、今号で五百号になりました。
今号では、創刊以来の広報の変遷をお知らせするとともに、その時代のでき事を紹介します。



昭和三十六年三月
第三十八号



昭和二十六年九月
創刊

2 昭和三十六年四月一日に町名変更が実施され、登別町になりました。当時の人口は、現在の約半分、二万九千人でした。
また、この年に役場の新庁舎が完成。その後増築が繰り返され、現在の市庁舎になっています。
この年II旅客機のジェット時代幕開け、初のデイズル特急登場、天皇・皇后両陛下登別へ行幸、国連で核兵器使用禁止宣言

1 昭和二十六年四月一日、町制が施行され、幌別村から幌別町になりました。同年九月に、広報のぼりべつの前身、「幌別町政だより」が創刊されました。
この年II初の血液銀行が大阪で開業、国産LPレコード発売、住民登録法公布、日米安全保障条約調印

月には、第400号を発行し、別公民館移転、鉄南ふれ完成（昭和60年1月）、石林が市内で見発見される。

9 平成2年5月発行の広報から、紙面が2色刷りになり、活字も大きくなりました。
また、お知らせ版(くらしのガイド)もこの年から充実をはかっています。
この年=市制施行20周年、登別マリンパークオープン、登別市公共下水道供用開始

10 平成4年6月、第500号の広報のぼりべつ発行。
今年、登別伊達時代村と天華園がオープン。温泉街では、ホテルの新改装ラッシュが続くなど観光都市として一層の魅力を備えてきました。
また、来年は宮城県白石市との姉妹都市提携10周年を迎え記念行事も計画中です。



平成二年五月
第四百七十五号



平成四年八月
第五百号



100-24150 100
EXTRA 100

NOBORIBETSU
24×36mm
DX ぶらっくもホワイト

あゆみ

『広報のほりべつ』の前身「幌別町政だより」は、昭和二十六年九月創刊です。

昭和二十六年四月一日に町制施行した幌別町は、同年九月に広報（町政だより）を発行しています。その後、昭和三十八年まで不定期の発行が続き、同年八月から月一回の発行。定期刊行物になりました。

昭和四十七年四月からは月二回の発行になり、この時『お知らせ版』がスタートしています。

昭和五十年四月からは、お知らせ版が廃止され、本紙の月二回発行が昭和六十年三月まで続きました。

しかし、昭和六十年四月には、一日発行を本紙として取り扱い、十五日発行を「くらしのガイド」と名付け、お知らせ版が復活。一枚物のくらしのガイドを平成二年三月十五日号まで発行しました。同年四月から現行の体裁になり現在に至っています。

今後も『広報のほりべつ』は、市民の皆さんへ市政の情報をお届けするとともに、皆さんの参加を得てまちの動きや話題を提供し、より読みやすく親しまれる紙面作りに努めます。

広報に関するご意見、感想がありましたら、ぜひお寄せください。

▽連絡先 広聴広報係 ☎011-3011



第百号
昭和四十三年二月



第三百号
昭和四十五年八月



第四百九十九号
昭和四十七年三月

3 昭和四十三年二月に第百号を発行しました。
この年、開基百年を迎えています。

4 この年II震が関ビル開館、小笠原諸島日本復帰、日本初の心臓移植手術が札幌大で行われる、川端康成ノーベル文学賞受賞

5 昭和四十五年八月一日、市制が施行され、登別市となりました。
この年II日本万国博覧会、よど号事件、全国初の自然保護条例が道議会でも可決

6 広報のほりべつは、第百四十九号まで月一回の発行でした。
きめの細かな情報提供を行うため、昭和四十七年四月から月二回の発行になりました。
この年II登別市立図書館開館、あさま山荘事件、七十歳以上の方の医療費無料化始まる

7 昭和59年8
てい
=この年=驚
あいセンター
4万年前の化

8 昭和59年8
てい
=この年=驚
あいセンター
4万年前の化

9 昭和50年12月で、200号を迎えた広報のほりべつ。
紙面を見ますと「これからの広報にのぞむ」と題し、広報発刊200号記念座談会を掲載してあります。
=この年=登別市民プールオープン、SL旅客列車廃止

第四百号
昭和五十九年八月



第三百号
昭和五十五年四月



第二百号
昭和五十年十二月

やってみました スペースゴルフ!

リポーター 中川 たみ子



家の中でくすぶっているのがもつたない良く晴れた日曜日、カールス・サン・スポーツランドへと車を走らせた。車窓から飛び込んでくる景観は眼にまぶしく、ほつと心を和ませてくれる。ウーン、空気がおいしい。風邪をひいて沈みがちだった気分も一気に晴れる。今日は「スペースゴルフ」へ挑戦する日。やる気がわいてくる。

まずは登別のオリジナルスポーツ「スペースゴルフ」の考案者である中林秀俊さんにお会いした。「プレーしながら説明しましょう」と案内していただいたホールを見回して、うなづいてしまった。なるほどうまく考えたものだ。名前の通り、わずかなスペースを使っての十八ホール。テニスコートの回りと小高い丘を上手に利用したアップダウンのある変化に富んだコースである。だが感心ばかりしてもいられない。肝心なのはおもしろいスポーツかどうかということだ。そんな心の内を見透かされたのか、「さあ、そろそろ始めましょう」と促される。中林さんの柔和な微笑みをたたえた瞳の中に「やってみたら分かるよ、おもしろいのが。」と言わんばかりの自信が見え隠れする。

「初めてですのでよろしくお願います」と皆さんにあいさつすると、さっそくジャンケンでスタート順を決めた。三人一組で私達は第三組目。スタート待ちの間にル

桜の季節も過ぎ、さわやかな初夏の到来です。家族やお友だちと屋外スポーツを楽しむことも多くなるでしょう。今号では、ちょっと変わったスポーツを三種類ご紹介します。機会を見つけてチャレンジしてはいかがでしょうか。

ールを教えてもらう。

渡されたマレー(木づち)とボールを見るとゲートボールで使うものと良く似ているが、大きさが少し違うらしい。各ホールには「パー四」とか「パー三」とか標準打数が明示してあるし、カップにホール番号を書いた旗を立てている等、ゴルフと同じだが一つのホールに標準打数から二を引いた数のゲートが設置してあり、ゲート番号の若い順にボールを通過させなければならぬのが特色。ただし、ゲートの前後どちらから通過しても良いとのこと。

さて、いよいよ私の番がきた。

スタートマークにボールを置く。緊張しているのが自分でも分かる。「方向が違うよ」と注意される。ゲートの中心をもう一度確認してから思いっきり打った。ボールは無事ゲートを通り、内心ほっとする。二打、三打と何とか第一ホールを終え、第二ホールへ向う。今度は思いっきりがよすぎて崖の下

へボールが転落し何回打っても上

へ上がらず、結局このホールはギブ・アップ。このスペースゴルフは標準打数の二倍まで(例えばパー三のホールは六打)打てるが、それ以上はギブアップと言って打ち切り、得点はそのホールの標準打数の三倍となってしまう(この競技は打数の少ない方が勝ちとなる)。何とかギブアップだけは避けたいと願いつつも思うようにはならない。簡単そうで難しいのだ。それでも偶然にロングショットが決まった時の快感さといつたらたまらない。そんな時は思わず胸を反らして歩いてしまう。ところがコーチの指導もようやく飲み込めてきたと思った時は、もうおしまい。あつという間に二時間余りが過ぎてしまった。何の事はない、いつの間にかのめり込んでしまっていた。文字通り、時の経つのも忘れて!

スコアは百三十六、ギブアップは四回と結果は最下位だったが、

本当に久々に夢中で遊んだような気がする。なるほどこれはおもしろい。まして登別で生まれた新しいスポーツだ。ぜひ皆さんに紹介したいと心から思いながら中林さんにお話をうかがった。

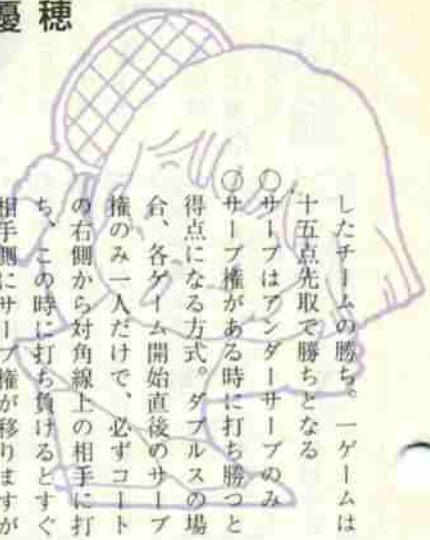
「スペースゴルフが誕生したのは六年前なんです。ゴルフは誰でもできる一般的なスポーツとは言えないし、ゲートボールもルールが複雑なことや、団体競技であるため、少人数では楽しめない。もっと簡単に少人数でも楽しめるスポーツはないものだろうか、と考えてきました。このスポーツは、老若男女を問わず子どもでもできますし、家族でも楽しめます。ギブアップ制で時間の短縮にもなりやすいから団体戦で職場対抗などのレクリエーションにも利用できます。四年前には登録スペースゴルフ協会が発足して現在四十一名の会員がいます。月例会はもちろんだが、大会も年に何度か開催するなど、積極的に活動していますので、皆さんにぜひ入会して楽しんでほしいです。」

なお、現在コースがあるのは「カールス・サン・スポーツランド」だけで、一人二百円で用具も借りられ一日楽しめるが、利用者数は年間延べ八百三十人程。もっとスペースゴルフ人口が多くなり、市内のあちこちにコースが増えるのを期待したい。

市民レポート

ラケット テニス

リポーター 坂本 優穂



したチームの勝ち。一ゲームは十五点先取で勝ちとなる。

- だれもが気軽に楽しめるスポーツとして市が普及に力を入れていくラケットテニスをご紹介します。
- 協力してくださったのは、市の体育指導員・藤枝政勝さん（日本バドミントン協会公認審判員・日本体育協会公認体力テスト判定員他）。
- （ルール等概要）
- コートはバドミントンと同じ
- ネットの高さは九十センチメートル
- 用具はテニス用より一回り小さく柄も短くて扱いやすい専用ラケットと軟かいスポンジボールを使用
- シングルとダブルスがある
- 一試合三ゲームで二ゲーム先取

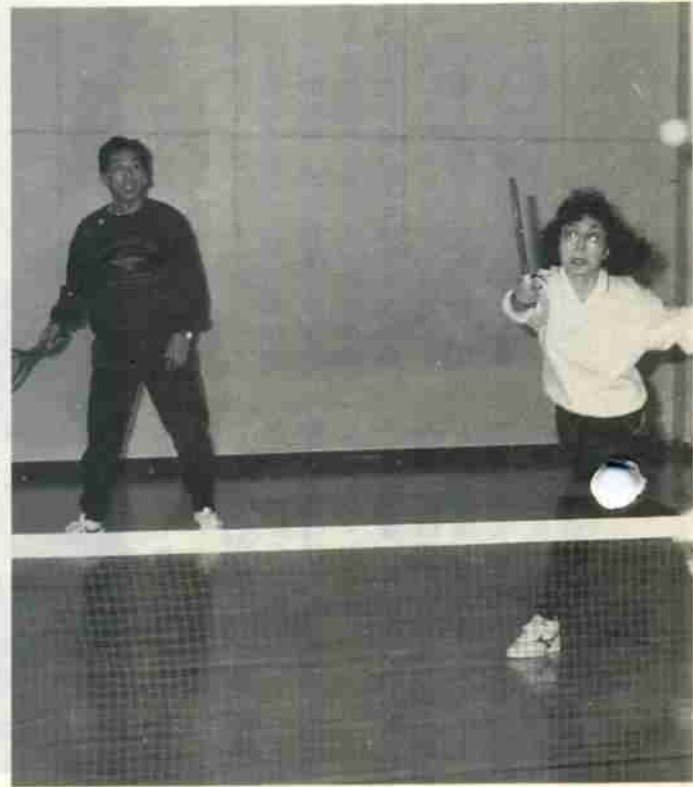
さて、ルールはこのくらいにしてラケットテニスの特長と面白さを更に見てみよう。藤枝さん、それに強力なバドミントンプレーヤーである奥さんの瑞衣子さんと共に実際にプレーしてみることになりました。

比較的軽くて小型のラケットは、非力な子どもや高齢者でも十分に振り切れそうだし、軟かいボールは当たっても痛くなさそう。まず一安心。それになんといっても高さが九十センチしかないネットは圧迫感がなく、取っかかりやすいイ

はじめにダブルスの模範プレーを見せてもらいます。テニスボールを打つような重い音はせず、かろやかにソフトな曲線を描いてボールは飛んでいきます。あまりスピードを感じさせない球足のラリーが続きます。

ふむふむ、これは簡単そうで私にも出来そうだな、と日頃のスポーツ音痴を顧みずプレーに参加してみました。

まずサーブ。一本目は見事失敗。ネットに届きません。ん？案外力があるな、と思いきや腕を大きく振って二度目は成功。しかし私は視力がアヤしいのでラリーは同行した人が代わって挑戦。うん、なかなかかまうまい。藤枝さんがスジが良いよ、とオダてるからニコニコしてスマッシュなんか決めちゃっ



て楽しそう。プレーを終わっての感想は、見かけの軽い感じに似合わず、けっこう力が入っちゃう、とのこと。それと藤枝さん達を見ているとコート狭しと動き回っています。

【私が見た結論的特長】

初心者にとっては

- バドミントンほど手首は使わず
- テニスほどのバウイングはいらず
- 卓球ほどの小さな動きもなく
- ミニバレーほどのジャンプ力も

要求されない

ために、コートと用具がそろえばすぐにプレーが楽しめるということ、しかし、レベルアップしてくると、使用ボールの特性から弾みが少ないためボールを待っていたのでは打ち遅れてしまうから迎えに行く感、コート内を縦横に走り回る結果、

「ほんとうにそうです。市ではミニバレーなどと共にスポーツ教室で積極的に普及を図っていますし、小学校の家庭教育学級でも取りあげています。市では年二回、三月と十二月に大会を開いています。まだまだサークル数も少ないので優勝するのなら今がチャンスですよ。教室で講習を受けて（週二回計十回）その後サークルで継続して、競技人口が増えれば大きな大会も出来ますしね、いつでも指導のご相談のりませうから」（藤枝さん談）

興味のある方は、いつでも市の総合体育館（☎55552）へ、また、スポーツ教室の開催等は広報紙のお知らせ号に載っています。終わりに、取材で行った市の体育館はスポーツサークルの人でいっぱい。登別市は、観光だけでなくスポーツ振興にも力を入れているなあ、と思いました。

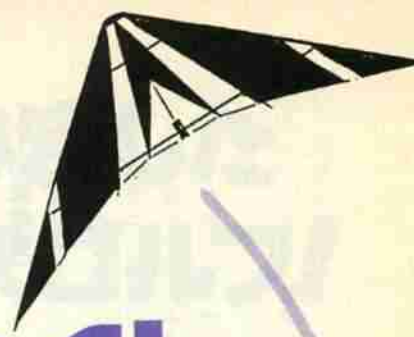
けっこうな運動量が得られること、それから、打ち込むコースにもよりますが、同じくボールの特性からスマッシュの決まり方がソフトな印象があつてレシーブ技術が上達しやすい感じを受けました。ラリーの応酬で一試合三ゲームで一時間ほど楽しめるようになるのではないかと思います。

危険度が少なく幅広い年齢層が取り組みやすいわりには試合の面白味や十分な運動量という要素もあつて今後の普及が楽しみです。スポーツとと思いました。

スポーツ

カイト

リポーター
イベント・スポーツ・クラブ



今、登別でもブームになりつつあるニューアウトドラスポーツ「スポーツ・カイト」(スタントカイトとも言う)をご存知ですか。このスポーツカイトは、風の仲間ですが風をつかむようにして飛ぶため、弱い風の時でも上げられ、ただだれにでも手軽に楽しむことができますのでご紹介します。

《カイトの歴史》

カイトの歴史は以外と古く、今から約三千年前にさかのぼります。その目的は、宗教的なことと軍事上にあつたとのこと。十四世紀には、盛んになった交易と共にヨーロッパに渡り、多くの人に親しまれ世界中に広がって行きました。

現在のものは、一九三〇年代にアメリカの海軍で射撃訓練用の標的として作られたのですが、次第に一般の人の趣味や競技用として普及してきたものです。日本にもアメリカから上陸してきました。

《カイトの種類、使い方》

カイトはファイバークラスまたはカーボンングラファイト等の骨組みとナイロン製のセイル(帆)で作られていますので、軽くて丈夫にできています。型はデルタ型(三角形)、ダイヤモンド型(菱形)、フオイル型(棒状)の三種類があります。

飛ばし方はカイトに二本または四本ついているライン(糸)を使い、ラインの一方にあるハンドルを持ち、カイトに向かって風上に立ちます。カイトを風下で持つてもらい、高く上げてもらって、ラインを引くと飛ぶといった仕組みになっています。

前書きはこの位にして、実際にやってみました。

場所は幸町の日の出球場。当日は曇一つない真つ青な空、そしてやや強めの風。まず前述したようにカイトに向って風上に立ち、ハンドルを真つすぐ伸ばした両手に持ち、カイトを風下で持つてもらいます。そしてカイトを高く上げてもらうとうとうでしょう、スーッ



と昇ってゆくではありませんか!! 二本のラインを均等な力で引き、カイトを十分な高さまで真つすぐ上げます。ヤッター! 出来た! という満足感、その気持ちの良い事と言ったらありません。それに手に伝わるピイーというすごい振動。あたかもエンジンが付いているかのように思えるスピード、風を受けて私も持ち上げられそうな感じを受けました。

初めはゆるやかな操縦でコントロールを練習します。右のラインを引けばカイトは右に曲がり、左を引けば左に曲がります。また、引いたままでは回転もします。何度もカイトを地球と衝突させてしまいかイトに申し訳なく思いましたが、どうにか飛ばすことができました。時間にしてわずか十分間程だったと思いますが、本当に

楽しませてもらいました。スポーツカイトは自然が相手のアウトドラスポーツ。風と格闘し、カイトを自在にコントロールする感動は、このスポーツならではのものです。今回指導していただいた志賀さんは、道内初というスタントカイトの専門店「フライング・フォックス」のマネージャーの方で、第一回全道スポーツカイト選手権で

優勝しているほか、国際大会にも参加しているカイトの第一人者なのです。今までに百人以上の人を指導しているとのことでした。店に訪れる方で時間が合えば、デモンストレーション用のカイトで体験させてくれるそうです。カイトの楽しみ方は、練習することによって自由自在、意のままに操作することが出来、回転・直進・曲線・静止などどのような飛行でもできることにあるでしょう。また、大空でフィギュアスケートのように演舞を競う大会に参加したり、人それぞれに楽しみ方はあると思います。

競技には、カイトを回転させたり、フィギュアエイト(横八の字)、パワーダイブ(急降下急上昇)など空に一定の図形を描く「規定」や、音楽に合わせて数人のチームで演舞する「フリー」などがあります。競技のクラスもノービス(初級者向き)、エキスペリエンス(中級者向き)、オープン(上級者向き)があります。

今年も日本でもカイトのワールドカップが開かれるとのこと、五月十六日・十七日の両日、千歳市で選手権が開かれ、全道各地から多くのカイト愛好者が集まったようです。カラフルなカイトを大空いっぱい飛行させる壮快感は、これからも多くの仲間を増やし続けてゆきましょう。

永年の功績に對して

勲三等旭日中綬章



水野忠治さん(七十三歳)

登別市青葉町在住

昭和三十八年、室蘭工業大学の短期大学教授となりました。その後、室蘭工業大学教授となり、昭和五十九年退官までの二十一年間、熱工学の研究と学生の指導にあたられました。
現在は、日本工学院北海道専門学校(現、日本工学院北海道専門学校)の教育部長として教鞭を執っています。

この道ひと筋

藍綬褒章



多田 弘さん(七十三歳)

登別市富士町在住

民生児童委員として、昭和三十四年から平成元年までの三十年間、地域住民の生活保護・青少年問題、離婚など多岐にわたる問題の良き相談役として活動を続けてきました。
現在は、人権擁護委員として活動を続ける一方、社会福祉活動にも力を注いでいます。

花いっぱい運動

花の苗をプレゼント

登別市民憲章推進協議会は、環境美化運動の一環としてまちを花できれいにしようと計画している町内会や各種団体に花苗を配布(無料)します。

苗は、一団体に百株、二十団体に配布を予定しています。

▽日時 六月二十六日(金) 午前十一時から正午まで(雨天順延)

▽場所 市民会館裏玄関前
▽申し込み方法・期限 市役所企

面調整室備え付けの用紙で六月十六日(火)までに申し込みください(期日前でも定数になり次第締め切ります)

▽問い合わせ 企画調整室(☎1122)

クリーンチケット

取扱所指定解除

次のクリーンチケット取扱所は、チケットを取り扱わなくなりましので、お知らせします。

▽大和町内会

水道週間

6月1日~7日

安心です 水道の水です
うまいです

登別市水道部から

水道料金のお支払いは——
便利な「口座振替」でどうぞ。

■口座振替とは…

取扱い金融機関が、あなたに代わって預金口座から自動的に水道料金を支払ってくれます。

■たいへん便利です

集金日が気になりませんから、いつでも安心して外出できます。特にお留守がちのお宅、共働きの方や来客の多いお店などは便利です。

■手続きは簡単です

お申し込みは登別、室蘭市内の各金融機関、及び郵便局で受け付けておりますので預金通帳とご使用の印鑑、最近の水道料金領収書をご持参下さい。

▷問い合わせ 水道部業務課(☎5501)

市債の状況

会計区分	元 金	利 子	合 計
一 般 会 計	113億8,727万2千円	51億1,761万円	165億488万2千円
下 水 道 会 計	48億5,844万5千円	47億8,394万4千円	96億4,238万9千円
富岸土地区画会計	1億1,925万7千円	740万6千円	1億2,666万3千円
水道事業会計	15億8,379万3千円	14億4,419万8千円	30億2,799万1千円
合 計	179億4,876万7千円	113億5,315万8千円	293億192万5千円

おわびと訂正

広報のほりべつ「くらしのガイド」五月十五日号でお知らせしました「市の台所事情」中、市債の状況に誤りがありました。
次の表の通り、おわびして訂正いたします。

こんなところ あんなところ

私の好きな場所

其の二十二…花のトンネル

登別温泉までの八〇の沿道には、二千本の桜が植えられています。これは、昭和九年に一本一円で購入した苗木を、地元住民の方々が労力奉仕で植樹したものです。満開の桜の花が道路の上をおおるように咲き乱れ、みごとな「花のトンネル」となり、観光客など訪れる人々の目を楽しませてくれます。今、道道洞爺湖登別線は、北海道開発庁の「緑の回廊づくり」事業の認定を受けて、四車線の拡幅工事が進んでおり、桜並木を中央分離帯に位置する整備が行われています。



市民登場

友達の輪



根底にあるのはボランティア…

門山 きぬさん
(61歳) 新生町在住

現在は国際ソロプチミスト登別、登別消費者協会、ボランティアアグループ「めんどりの会」、女性の自立プランなどで活動しています。これらにかかわることになった動機なんですが、今から十四年前に他のまちから転入してきました。これから長く住むであろう登別のことが何もわからないのでは困るなあと考え、登別婦人短期大学に入学しました。ここではいろんなことを教えていただきましたが、異なった年代の方との交流ができ、人との話し合いの楽しさの中で勉強できたことが、婦人活動に参加するきっかけとなったんですね。

婦人短大の専科を卒業した方々と五年前に「めんどりの会」を結成し、現在、二か月に一度の割合で川上町にあります養護老人ホーム「恵寿園」におじゃまして、お年寄りの方々と交流しています。ゲームをしたり、掃除のお手伝いをしたりしているんです。私自身、子育ても終わり何も考えずにボランティア活動に打ち込める時期になっていきますので、「めんどりの会」では、人づくりが基本理念で、人の和を大切にしています。メンバー同志で親睦のためのスポーツなんかも行っており、活動のためのエネルギーの充電もしています。

結局、自分のために活動している部分もありますけど、何をするにしても、根底に流れているのはボランティア精神ですものね。
(リポーター 丸山由紀)

次回は、登別東町在住の飯沼良幸さんです。お楽しみに!!

登別市高齢者事業団 事務所移転のお知らせ

登別市高齢者事業団は、六月一日より次の住所に移転します。

消費者コーナー

かしまい消費生活シリーズ

(その一)

▽住所 登別市千歳町三丁目一番地八(労働福祉センター内)
▽電話番号 0880
※高齢者事業団では、概ね六十歳以上の健康で働く意欲のある高齢者の会員を募集しています。

薬類取締法

一、化学物質による環境汚染と健康被害の防止のために(化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律)

一、特定生活用品の安全性確保のために(繊維製品及び日用品雑貨の安全対策)

以上の法律は消費者の利益を保護し増進するために定められており、「消費者保護基本法」は、国民生活の安定、向上に努めております。

次号からは、これら消費者保護の法律についてシリーズでお伝えします。

▽問い合わせ 登別消費者協会
(08307)



安全な消費生活を送るため、次のことが法律で守られております。

一、電気製品の安全性確保のために(電気用品取締法)

一、ガスの安全のために(ガス事業法)

一、LPガスの安全のために(液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律)

一、危険な製品から消費者を守るために(消費生活用製品安全法)

一、がん具花火の安全のために(火

生涯学習

コーナー

学んで広がる

みんなの輪

ふるさと学習

推進事業

スタートします!!



平成四年度のふるさと学習推進事業は、新しく期待をふくらませ平成元年度以来四回目を迎えました。

毎年、市民の皆様のご理解やご協力のおかげで盛況に事業に取り組んでいますが、今年も一層市民の皆様へ愛されるよう内容も工夫いたしました。

郷土の自然や歴史、文化など体験を通して理解していただき、ふるさとを愛し、更により良い「まちづくり」を願っています。

事業内容としては、「ふるさとふれあい農園」を三地区、四か所に広げ、地域の児童・生徒とおじいちゃん、おばあちゃんとの交流

の輪を一層広げます。

好評だった「親子ふれあい釣り大会」や、巡視船に乗って「海から見る登別」の事業など、盛りだくさんです。

特に、ふるさと学習推進事業の最後を飾る二月の事業は、「冬の

アドベンチャーまつり」を予定しています。

子ども達はもちろんのこと、お父さん、お母さん、そしておじいちゃん、おばあちゃんも参加して新しい登別を生み出してください。

(生涯教育推進室)

事業名	事業趣旨(ねらい)	事業内容	実施時期
ふるさとふれあい農園	高齢者のもつ豊かな経験や知恵を子どもたちが学ぶとともに、高齢者を敬う心を養う。	市内3地区(登別・幌別・鶯別地区)でふれあい農園を開園し、芋・大根を植え収穫する。	開園: 5月中旬 収穫祭: 10月
ふるさと探訪	自然に親しみながら、ふるさとを再認識する。	・巡視船(小学生) ・史跡めぐり ・たちばな湖	6月下旬 7月 9月
親子ふれあい釣り大会	親子のふれあいを図るとともに、自然を大切にす郷土愛を育む。	幌別川でニジマス釣り大会を親子で実施する。また、釣り大会に合わせて幌別川のゴミ拾いを実施。	9月12日
ふるさとセミナー	環境保護の実践と、親子のふれあいを図る。	鶯別海岸及びその周辺を清掃する。また、地引網を実施し、親子のふれあいを図る。	9月下旬
のほりべつの良さ再発見	ふるさと登別を再発見し、郷土愛を育てる。	ふるさと登別の四季を通じた自然を写真で紹介し、のほりべつの良さを再発見する(写真一般公募)	平成5年2月 公募: 6~12月
冬のアドベンチャーまつり	冬まつりを実施し、親子のふれあいを図る。	年度内最後の事業として、冬まつりを実施する。雪遊び・冬の遊び	平成5年2月13日
※学校週5日制ふれあい学習	学校週5日制に対応した学習を実施する。	中学校校区ごとに、各教育施設を利用して実施する。	9月~平成5年3月

健康

ひとくち

お母さん!

こどもの歯を大切に

メモ

明らかにむし歯になってしまうこんな状況

— 1歳6か月児健診統計より —

- ほ乳びんをまだ使っている子
- 断乳していない子
- 間食時間がきまっていない子
- 間食にアメ・ガム・チョコレートなどの甘い食べ物をとっている子
- ジュース類(果汁飲料、乳酸飲料、スポーツ飲料含む)を毎日飲んでいる子

ビタミンB₁、カルシウムが不足すると...

- ・情緒不安定
- ・おこりっぽい
- ・あきっぽい
- ・狂暴性

これからの季節は、気温も高くなり、炭酸飲料などのジュース類を飲む機会が増えます。このジュース類にどれだけの砂糖が入っているかご存じですか。市販されているジュース類には百cc中七〜二十グラムの砂糖が含まれています。幼児期の子どもの一日に必要な量は、二十グラムくらいです。一缶全部飲めば必要以上の砂糖を取るようになります。糖分は子どもの活発な活動のエネルギー源ではありますが、取りすぎは子どもにどんな悪影響を及ぼすかは言うまでもありません。スポ

ジュース類の取りすぎはビタミンB₁やカルシウムの不足につながる



ーツ飲料はジュースとは別に考えている方もいますが、スポーツ飲料もジュースと同様です。登別市における一歳六か月児健診や三歳児健診を受けたお子さんの統計でもジュースを毎日飲んでいる子にむし歯が多いという結果が明らかに出ています。むし歯は乳歯から予防することが大切で、お母さんの手にかかっています。一生使う歯なのですから生え始めからむし歯にしたいくないものです。お子さんの歯を大切にするお母さんの気持ちはお子さん自身にも伝わるはずですよ。

今から約百二十年前、北海道の第二次移住問題で、家臣団との折り合いがつかず、室蘭郡の支配を解除された仙台藩角田の石川邦光(二万一千石)に代り、幌別郡の片倉邦憲が、現在の室蘭市幌前・本輪西町より東・南の室蘭の大部分を支配するようになった。

それにしても、室蘭は港の奥が深く北海道でも二つとない天然の良港であるから、港を開くのが第一であると論じた片倉家臣らは、港の調査を兼ねて、漁港を開こうとし、幌別在住の東海林栄蔵に命じて調査に当たらせた。

東海林は明治三年(一八七〇)八月、アイヌの人達五人を連れて舟で幌別岬を過ぎ、室蘭トッカリシヨ(アザラシ岩)に泊り、翌日室蘭湾に入り、シツクシ(祝津町)に草葺の小屋を建て、漁港の中心はトッカリモイ(緑町・海岸町付近)と定めて高橋徳兵衛なる者に貸付け漁場として与えた。

続いて、幌別村からトッカリモイ(チカ・入江)へ陸上道路を開削しようとして、旧家臣河田新太郎に命じ、片倉家移住者十人と、アイヌの人達二十人を募集し、馬と人の通れる程の山道を作らせたのである。この路は、幌別からイタンキ大通りを汐見トンネル(栄高校南)をう回し鶴ヶ崎中学校の上に出て、大凡現在の室蘭観光道路を御崎町に出ている。何れにしても

室蘭半島を貫く最初の道路で、後に説明する「札幌本道」の基本になっているから大したものである。

また、明治三年十月、幌別村字ベシボッケ(崖下の意味)に駅通常備馬四百余頭以外の野放し馬を収容する放牧場(輪西・みゆき町)に造り、南西は室蘭郡・幌別郡との境界ウクシバウシ(大沢町三丁目)、南東はイタンキのタコ沼方面の大谷地(東町)に馬欄を設け、看守番屋をつくり、幌別村移住の須田弥左衛門・半沢蔵松らが管理に当たった。

郷土史点描 25 登別市の境界

(片倉家旧臣ムロランを拓く)

登別郷土文化研究会 宮武 紳



このように、幌別郡(登別市)

に入植した片倉家臣らは、加増された室蘭郡の開拓に尽力するのであるが、明治四年の廃藩置県をもとに、大名などの領国支配は廃止され、片倉家の幌別郡・室蘭郡の支配地も開拓使のもとに返上し、領国の夢も消えてしまった。

それにしても、東京から北海道を結び、室蘭から札幌を結ぶ「札幌本道」は最も重要な陸上の高速道路で、我国最初の「洋式馬車道」として明治五年着工されるが、アメリカ人技師ワーフィールドは、室

蘭を一望できるホシケサンベ(測量山)にのぼり、三角測量の基点を定めて測量し、第一番の杭を打ち込んだのがトキカラモイ。港を整備し初めて船着き場の棧橋が造られたのもトキカラモイであった。そのトキカラモイは片倉家臣が苦勞して開拓した、室蘭郡最初の農漁場であり、札幌本道は彼等の開削した山道が原形であった。官舎・倉庫・旅館・病院や道路開設のために土地は収容され、日野愛意が役人として残る以外は幌別郡に引き上げ、アイヌの家二戸も、米一俵で移転された。

札幌本道建設のため、幌別村ベシボッケ牧場も廃止されるが依然として、現在の輪西・みゆき・大沢町三丁目などは幌別郡登別村の行政区内であった。

また、室蘭には輪西屯田の名称で、明治二十年(一八八七)二十一年に、屯田兵二百二十戸の入植をみるのが、現在の高砂町・宮の森・日の出・中島町三丁目の屯田兵舎約九十戸は行政区として幌別郡登別村に有りながら、資料や活動跡が全くないのは残念である。屯田兵制度は、兵部省(後の陸軍省)管轄なので超法規的措置と雖も、幌別郡・室蘭郡の先住の開拓移民とは、必ずしも容認された状態になく、反目・確執があった行政上の不都合が現実的なものとして残されていたようである。

室蘭市

今年室蘭市は

開港一二〇年

市制施行七十年

明治五年(一八七二年)に森町と室蘭を結ぶ定期航路が開設され、室蘭港が開港。また、大

正十一年八月一日に札幌、函館、小樽、旭川、釧路とともに市制が施行され、室蘭市が誕生しました。そして今年、開港一二〇年市制施行七十



とまりまち ほっと ライン

登別市の皆さん。今月から紙面をお借りして伊達市の行催事などを紹介させていただきます。どうぞ、伊達へもお気軽にお

越してください。

今月は、野外活動として人気が高いサイクリングの講習会、新

初夏の湖畔で

いい汗流して

伊達市

年を迎え、先人の偉業をたたえるところとともに、活力ある室蘭をつくるため、十一月まで多彩な記念事業が行われます。

記念事業協賛

環境フェスティバル

六月七日(日) 開催

▽産業会館会場(午前十時三十分から正午まで)：環境問題を考える講演会(講師：小澤遼子さん)
▽中央町小公園会場(午後一時から午後四時)：廃食用油石けん・牛乳パックはがきの製作実習・花と緑のプレゼント、空き缶ピクニックなど

▽問い合わせ 室蘭市環境対策課(☎011-2386)

緑の湖畔を走る銀輪の集い"をご案内します。

▽日時 六月二十七日(土)午後一時三十分～翌日午後四時

▽対象 中学生以上

▽定員 四十名(先着順)

▽参加料 二千円(食事・保険)

▽内容 サイクリングの知識と楽しみ方、キャンプファイヤー

1、洞爺湖畔一周実走

▽集合・宿泊 胆振青年の家

▽その他 青年・婦人・成人の方は二十八日のみの参加も可

小雨決行。無料貸与車二十台あり。

▽申し込み 胆振青年の家(☎014222761)